

インフロニア・ホールディングス株式会社

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

2025年11月14日

当社概要

- ・ インフロニア・ホールディングス株式会社は東京都千代田区に本社を置き、建築事業・土木事業・舗装事業・機械事業・インフラ運営事業を展開しています
- ・ 「総合インフラサービス企業」として、建設会社の殻を破り、インフラを上流から下流までワンストップでマネジメントするビジネスモデルを実行しています

当社概要

社名	インフロニア・ホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区
設立	2021年10月
資本金	20,000百万円
事業内容	建築事業、土木事業、舗装事業、機械事業、インフラ運営事業
売上高	847,548百万円（2025年3月期 連結）
社員数	8,076名（2025年3月期 連結）
グループ	前田建設工業株式会社 前田道路株式会社 株式会社前田製作所 日本風力開発株式会社 三井住友建設株式会社 他

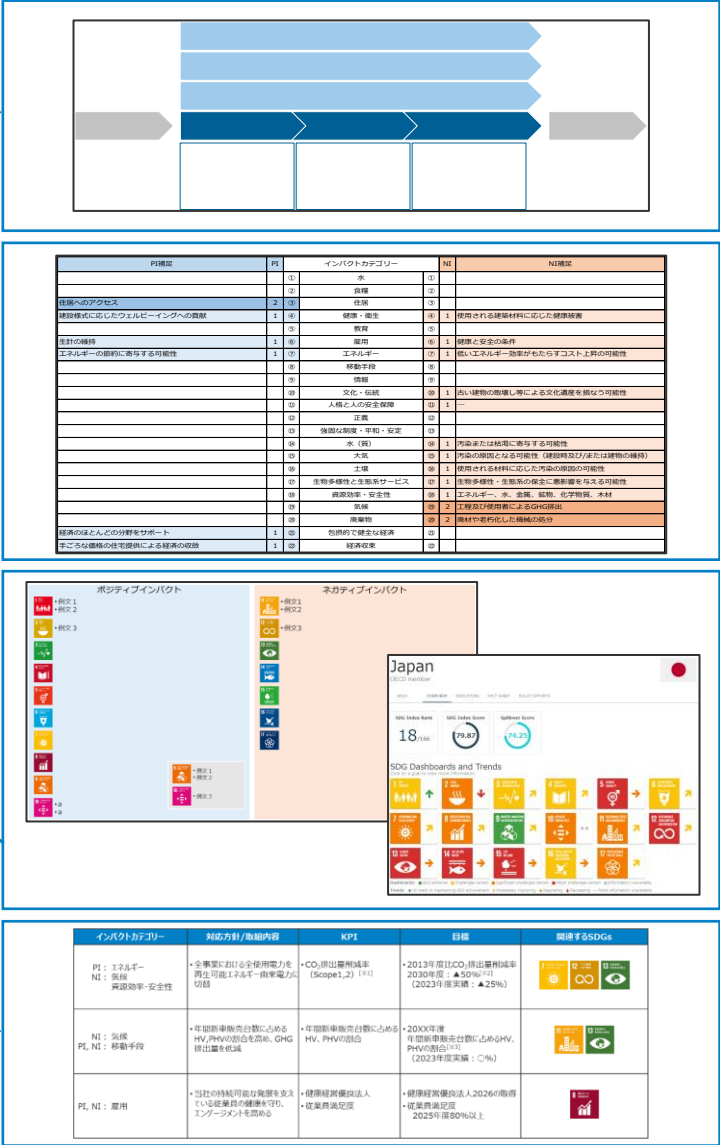


前田建設工業(株)ICI総合センター（茨城県取手市）

インパクト分析フロー

- 下記のフローで当社グループのインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました

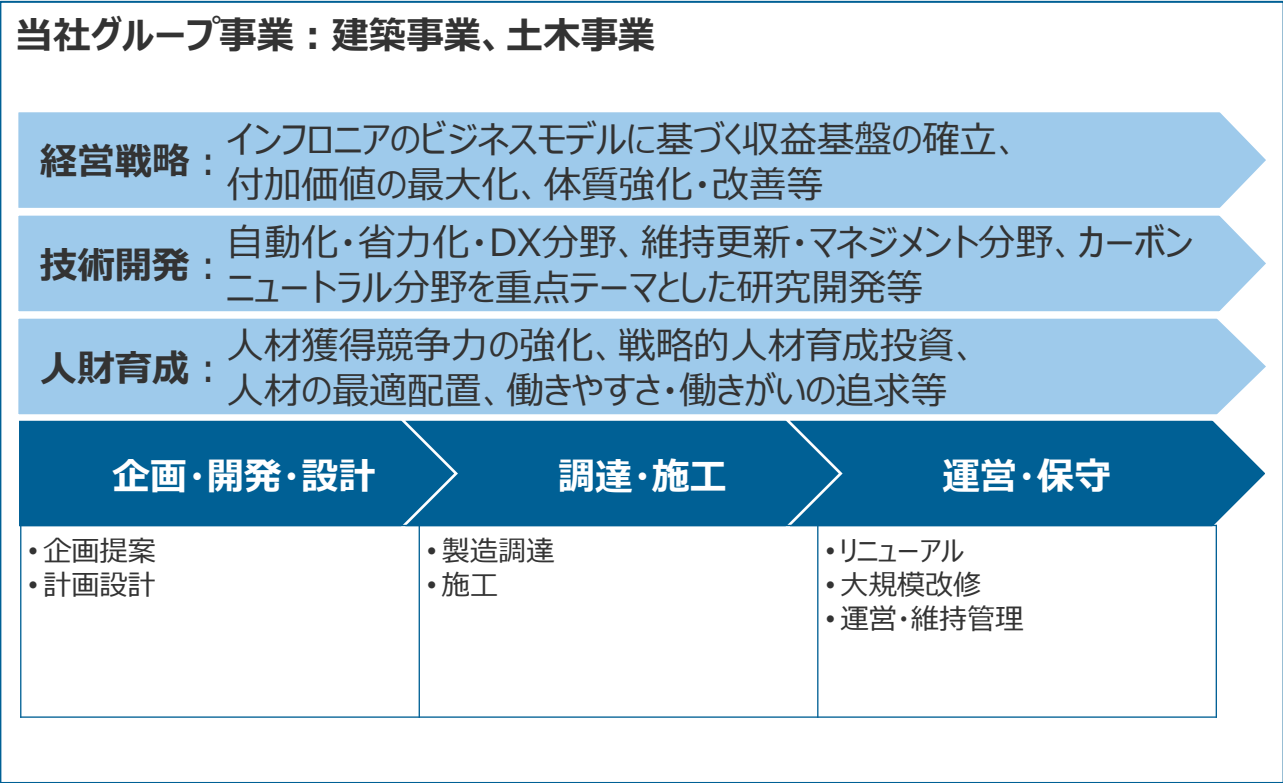
工程		内容
①	バリューチェーン分析	当該事業が経済的価値を創出するに至るプロセス（製品・サービスの構想、製造、提供、消費等）を特定します。
②	インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的に想定されるポジティブ／ネガティブインパクトを確認します。
③	インパクトの特定	上記①②及びヒアリング結果等から当該事業のインパクトを特定の上、SDGs等社会的な要請との整合を確認します。
④	KPI・目標の設定	ポジティブインパクトが増大する、あるいはネガティブインパクトが抑制されるようなKPIと目標を設定します。



バリューチェーン分析（当社グループ事業：建築事業、土木事業）

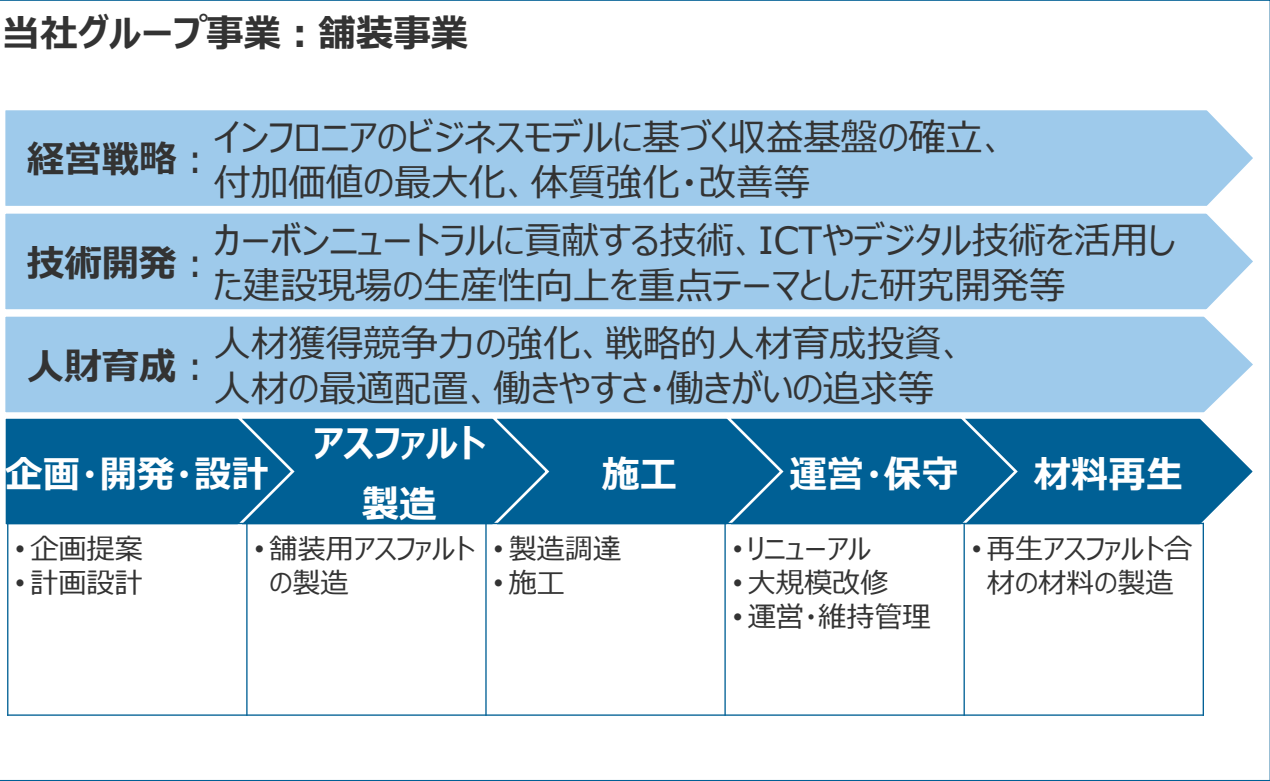
- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、建築事業、舗装事業、土木事業をバリューチェーン*分析の対象としました（当該ページは建築事業、土木事業のバリューチェーン分析結果を示しています）

*当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ



バリューチェーン分析（当社グループ事業：舗装事業）

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、建築事業、舗装事業、土木事業をバリューチェーン分析の対象としました（当該ページは舗装事業のバリューチェーン分析結果を示しています）



インパクトマッピング (当社グループ事業：建築事業)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：建築事業
⇒ ISIC：4100 建築工事業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
住居へのアクセス	2	③	住居	③	
建設様式に応じたウェルビーイングへの貢献	1	④	健康・衛生	④	1 使用される建築材料に応じた健康被害
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 健康と安全の条件
エネルギーの節約に寄与する可能性	1	⑦	エネルギー	⑦	1 低いエネルギー効率がもたらすコスト上昇の可能性
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	1 古い建物の取壊し等による文化遺産を損なう可能性
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	1 ー
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染または枯渇に寄与する可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染の原因となる可能性（建設時及び/または操業用の燃料）
		⑯	土壌	⑯	1 使用される材料に応じた汚染の原因の可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	1 生物多様性・生態系の保全に悪影響を与える可能性
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー、水、金属、鉱物、化学物質、木材
		⑲	気候	⑲	2 工程及び使用者によるGHG排出
		⑳	廃棄物	㉑	2 廃材や老朽化した機械の処分
経済のほとんどの分野をサポート	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
手ごろな価格の住宅提供による経済の収斂	1	㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング（当社グループ事業：土木事業、舗装事業（舗装工事））

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：土木事業、舗装事業（舗装工事）

⇒ ISIC：4210 道路・鉄道建設業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④	1	－
		⑤	教育	⑤		
生計の維持	2	⑥	雇用	⑥	1	健康と安全の条件
		⑦	エネルギー	⑦		
移動手段へのアクセスに貢献	2	⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩	1	－
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭	1	汚染または枯渇に寄与する可能性
		⑮	大気	⑮	1	汚染の原因となる可能性（建設時及び/または操業用の燃料）
		⑯	土壌	⑯	1	流出による汚染の原因の可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	1	土地の生態系と種に悪影響を及ぼす
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1	エネルギー、水、鉱物、化学物質、金属
		⑲	気候	⑲	1	工程及び使用者によるGHG排出
		⑳	廃棄物	㉑	1	廃材や老朽化した機械の処分
経済のほとんどの分野をサポート	2	㉑	包摂的で健全な経済	㉑		
モビリティソリューションによる経済の収斂	2	㉒	経済収束	㉒	1	有料化による経済収束の弱体化

（凡例） PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング（当社グループ事業：舗装事業（アスファルト製造））

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：舗装事業（アスファルト製造）
⇒ ISIC：2399 他に分類されないその他の非金属鉱物製品製造業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
住居への貢献	1	③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	1 汚染の一因となる可能性
		⑮	大気	⑮	1 汚染の一因となる可能性
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー、水、ラテックスまたは代替原料
		⑲	気候	⑲	1 GHG排出
		⑳	廃棄物	㉑	1 工程および老朽化設備から出る廃棄物
サプライチェーンを支える健全な経済の一部	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

（凡例）PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング（当社グループ事業：舗装事業（材料再生））

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：舗装事業（材料再生）
⇒ ISIC：3830 材料再生業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
健康（衛生）に貢献	2	④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 健康と安全の条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
水システムの保全に貢献	2	⑭	水（質）	⑭	2 処理・処分方法、設置場所によっては、悪影響を及ぼす可能性がある
さらなる資源採掘の必要性を減らす可能性がある	1	⑮	大気	⑮	1 汚染の一因となる可能性
土壌の保全に貢献	2	⑯	土壌	⑯	
生物多様性／生態系の保全に貢献	2	⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
新たな素材の必要性を減らすことに貢献	2	⑱	資源効率・安全性	⑱	1 エネルギー、水
		⑲	気候	⑲	1 GHG排出
廃棄物管理に貢献し、削減の可能性もある	2	⑳	廃棄物	㉑	1 老朽設備および車両由来の廃棄
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

（凡例）PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

		当社グループ事業							
		建築事業		土木事業、 舗装事業（舗装工事）		舗装事業 （アスファルト製造）		舗装事業 （材料再生）	
インパクトカテゴリー		PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	① 水								
	② 食糧								
	③ 住居	2				1			
	④ 健康・衛生	1	1		1			2	
	⑤ 教育								
	⑥ 雇用	1	1	2	1	1	1	1	1
	⑦ エネルギー	1	1						
	⑧ 移動手段			2					
	⑨ 情報								
	⑩ 文化・伝統		1		1				
	⑪ 人格と人の安全保障		1						
	⑫ 正義								
	⑬ 強固な制度・平和・安定								
環境 質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭ 水（質）		1		1		1	2	2
	⑮ 大気		1		1		1	1	1
	⑯ 土壌		1		1			2	
	⑰ 生物多様性と生態系サービス		1		1			2	
	⑱ 資源効率・安全性		1		1		1	2	1
	⑲ 気候		2		1		1		1
	⑳ 廃棄物		2		1		1	2	1
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	1		2		1			
	㉒ 経済収束	1		2	1				

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

SDGsとの関連性（当社グループ事業：建築事業）

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：建築事業

⇒ **ISIC：4100 建築工事業**

ポジティブインパクト



- 手ごろな価格の住宅提供による経済の収斂



- 建設様式に応じたウェルビーイングへの貢献



- 経済のほとんどの分野をサポート



- エネルギーの節約に寄与する可能性



- 生計の維持
- 経済のほとんどの分野をサポート



- 住居へのアクセス



- 手ごろな価格の住宅提供による経済の収斂

ネガティブインパクト



- 使用される建築材料に応じた健康被害
- 汚染の原因となる可能性（建設時及び/または操業用の燃料）



- 汚染または枯渇に寄与する可能性



- 低いエネルギー効率がもたらすコスト上昇の可能性
- エネルギー、水、金属、鉱物、化学物質、木材



- 健康と安全の条件



- -



- 古い建物の取壊し等による文化遺産を損なう可能性



- エネルギー、水、金属、鉱物、化学物質、木材
- 廃材や老朽化した機械の処分



- 工程及び使用者によるGHG排出



- 生物多様性・生態系の保全に悪影響を与える可能性



- 使用される材料に応じた汚染の原因の可能性
- 生物多様性・生態系の保全に悪影響を与える可能性

SDGsとの関連性（当社グループ事業：土木事業、舗装事業（舗装工事））

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：土木事業、舗装事業（舗装工事）

⇒ ISIC：4210 道路・鉄道建設業

ポジティブインパクト



- モビリティソリューションによる経済の収斂



- 経済のほとんどの分野をサポート



- 生計の維持
- 経済のほとんどの分野をサポート



- 移動手段へのアクセスに貢献



- モビリティソリューションによる経済の収斂

ネガティブインパクト



- 有料化による経済収束の弱体化



- 汚染の原因となる可能性（建設時及び/または操業用の燃料）



- 汚染または枯渇に寄与する可能性



- エネルギー、水、鉱物、化学物質、金属



- 健康と安全の条件



-



- エネルギー、水、鉱物、化学物質、金属
- 廃材や老朽化した機械の処分



- 工程及び使用者によるGHG排出



- 土地の生態系と種に悪影響を及ぼす



- 流出による汚染の原因の可能性
- 土地の生態系と種に悪影響を及ぼす



- 有料化による経済収束の弱体化

SDGsとの関連性（当社グループ事業：舗装事業（アスファルト製造））

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：舗装事業（アスファルト製造）

⇒ ISIC：2399 他に分類されないその他の非金属鉱物製品製造業

ポジティブインパクト



- サプライチェーンを支える健全な経済の一部



- 生計の維持
- サプライチェーンを支える健全な経済の一部



- 住居への貢献

ネガティブインパクト



- 汚染の一因となる可能性



- 汚染の一因となる可能性



- エネルギー、水、ラテックスまたは代替原料



- 労働条件



- エネルギー、水、ラテックスまたは代替原料
- 工程および老朽化設備から出る廃棄物



- GHG排出

SDGsとの関連性（当社グループ事業：舗装事業（材料再生））

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：舗装事業（材料再生）

⇒ **ISIC：3830 材料再生業**

ポジティブインパクト



- 健康（衛生）に貢献
- さらなる資源採掘の必要性を減らす可能性がある



- 水システムの保全に貢献



- 新たな素材の必要性を減らすことに貢献



- 生計の維持



- 新たな素材の必要性を減らすことに貢献
- 廃棄物管理に貢献し、削減の可能性もある



- 生物多様性／生態系の保全に貢献



- 土壌の保全に貢献
- 生物多様性／生態系の保全に貢献

ネガティブインパクト



- 汚染の一因となる可能性



- 処理・処分方法、設置場所によっては、悪影響を及ぼす可能性がある



- エネルギー、水



- 健康と安全の条件



- エネルギー、水
- 老朽設備および車両由来の廃棄



- GHG排出

KPI・目標の設定について

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるマテリアリティならびにサステナビリティ方針等との整合性を踏まえ、KPI・目標を以下のように選択し、設定しました
- 目標に対する実績の進捗、新たな目標値の設定については年次モニタリングで確認します

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
PI: エネルギー NI: 資源効率・安全性 気候	• 環境負荷低減を実現する工法、設備・商品の設計・施工・製造の推進 • バリューチェーン全体の温室効果ガス排出の削減 • 化石資源由来原材料の削減 • 製造プラントの環境負荷低減	• 温室効果ガス (Scope1+2、Scope3)	2030年度目標 • Scope1+2 2021年度比▲45.8% (2024年度実績 ▲30.3%) • Scope3 2021年度比▲25.0% (同 ▲32.5%)	  
PI, NI: 雇用	• 労働者の就労環境・条件の改善/安全衛生の推進 • 多様な人材の受け入れと活躍の場の拡大 • 不法就労/強制労働の防止（外国人労働者への対応） • 人権への理解向上と侵害防止 • 教育・研修の充実と推進	• 度数率 • 女性管理職比率 • 女性育休取得率 • 男性育休取得率	• 2030年度まで継続して0.6以下※1 (2024年度実績 0.61) • 2027年度目標 4.8% (同 2.3%) • 2027年度目標 100% (同 95.8%※2) • 2027年度目標 75% (同 62.2%※3)	

（凡例）PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制

- ※1 対象は前田建設
- ※2 育児休業を取得した割合
- ※3 育児休業及び育児休暇を取得した割合



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスをを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。